

第2章 基本構想



1 目指すまちの姿 —将来都市像と基本目標—

将来都市像 ～高浜市が目指すべき姿のキャッチフレーズ～

人と想いが
つながりつながるしあわせなまち
大家族 たかはま 

高浜市は、行政だけでなく、市民、地域で活動している団体、事業所やそこで働いている人、学校等で学んでいる人など、様々な人たちの営みによって成り立っていることから、前総合計画（第6次総合計画）において、高浜市に暮らす全ての人たちを「大家族」とし、将来都市像（キャッチフレーズ）に掲げていました。これまでの高浜市を創りあげてきた人と人とのつながり、想い、「大家族たかはま」を、これからを生きる人たちにつなげ、しあわせなまち高浜市をみんなで創り上げていくことを目指します。

しあわせなまち…

幸せとは、「運が良いこと。また、そのさま」「幸運」「幸福」を一般的には意味することが多いですが、本来は、「めぐり合わせ」や「運命」の意味を持ち、元々は「仕合せ」と表記され、語源を辿ると「為し合わす」であるといわれています。「為す」とは動詞「する」で、何か2つの動作などを「合わせる」こと、それが「しあわせ」だという意味です。つまりは、「複数人で何か行動を一緒にすること」自体が「しあわせ」ということであり、元々は動詞であったことから、「しあわせ」とは状態ではなく「しあわせる」という行動そのものだったといわれています。

高浜市が考える「しあわせなまち」とは、多くの人や想いが出会い、つながり合うことで、大家族のような、助け合い、支え合う、“おたがいさま”がつながる、そんなあたたかいまちです。

基本目標 ～将来都市像を実現するためのまちづくりの目標～

1. 手を取り合ってみんなでまちをつくろう【ともに歩む】

社会の変化や多様化する市民のニーズに対応していくため、地域コミュニティの活性化や市民一人ひとりが、個性を生かし、お互いを認め合いながら活躍できる環境づくりを行い、個人・団体・企業・行政など、高浜市にかかわるみんなが手を取り合って、ともに歩むまちづくりを目指します。

2. みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう【ともに育む】

安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、子どもたちの個性や生きる力を育む学校教育や、生涯学習・スポーツの充実に努めるとともに、高浜市の伝統・文化の大切さを伝えることにより、我がまちに愛着と誇りの持てる次代を担う人材や、心豊かな人を育み、人と文化を未来につなぐまちづくりを目指します。

3. 行きたい 住みたい 住み続けたい 魅力がつながるまちをつくろう【ともに発展し続ける】

市民の生活や地域経済の発展を支えるため、良好な市街地整備や道路・交通ネットワークの充実を図るとともに、より快適な暮らしを実現するための生活基盤の整備を進め、災害に強い、快適な暮らしを支えるまちづくりを目指します。

さらに、身近な自然環境を保全しつつ、ごみの減量や分別収集による資源の有効利用と環境美化の推進により、環境に負荷を与えないまちづくりを目指すとともに、循環型社会*の形成などにより、誰もが「行きたい 住みたい 住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを目指します。

4. 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう【ともに安心して暮らす】

健康づくり、地域医療、福祉を充実し、生涯を通じて健康な生活を送ることができ、地域で互いに助け合い、支え合う福祉社会の実現に加え、災害に強いまちづくりや交通安全・防犯対策の強化に努めるなど、毎日を笑顔でしあわせに暮らせるまちづくりを目指します。



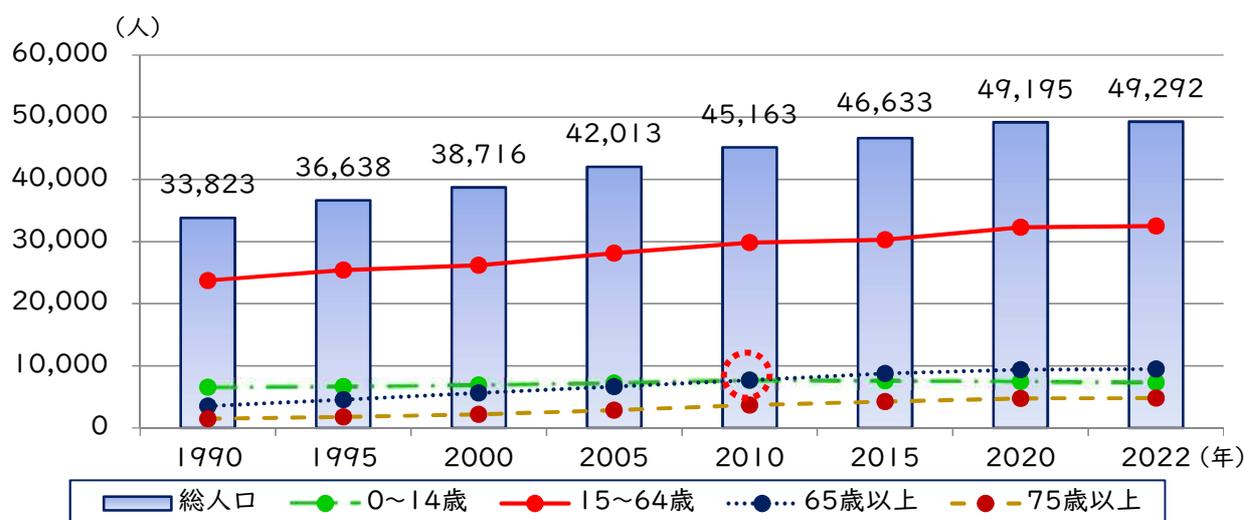
2 人口の現状と見通し

将来を見据え、計画的に目標（将来都市像）の実現を目指していくためには、高浜市に暮らす人々の状況がどのように変化していくのか、人口の見通しを把握することが重要です。

(1) 人口の推移

住民基本台帳に基づく総人口の推移をみると、増加傾向が続いています。

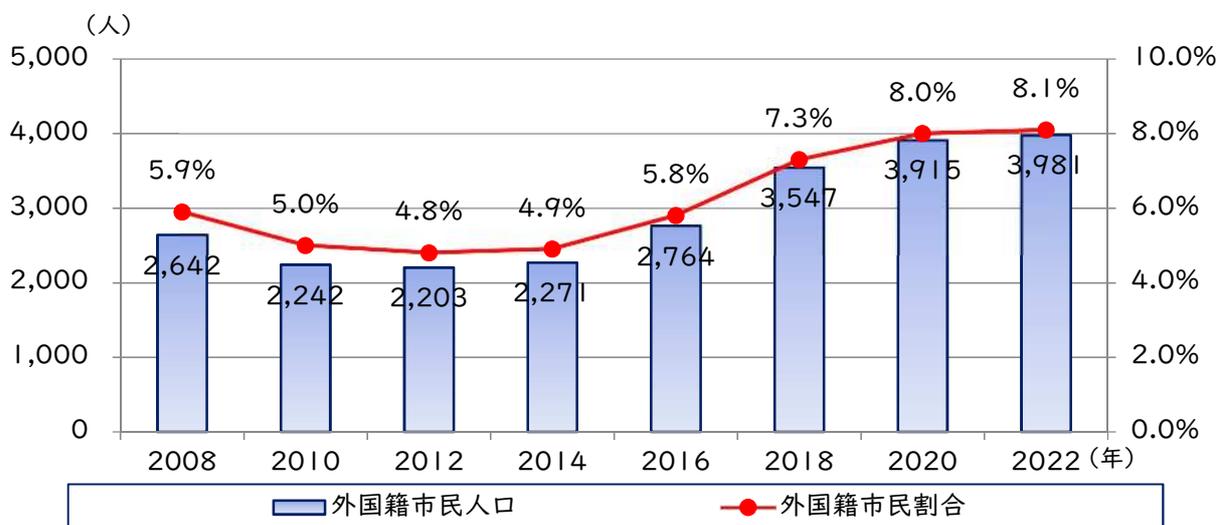
人口は年々増加しているが2010年（平成22年）に年少人口（0～14歳）を老年人口（65歳以上）が上回るようになりました。



出典：住民基本台帳人口（各年10月1日時点。ただし、2022年のみ4月1日）、65歳以上人口には75歳以上人口も含まれます。

(2) 外国籍市民の人口の推移

近年の高浜市の特徴である外国籍市民人口の増加ですが、人数及び比率とも年々増加傾向にあり、総人口に占める外国籍市民の割合は愛知県内でもトップレベルになっています。

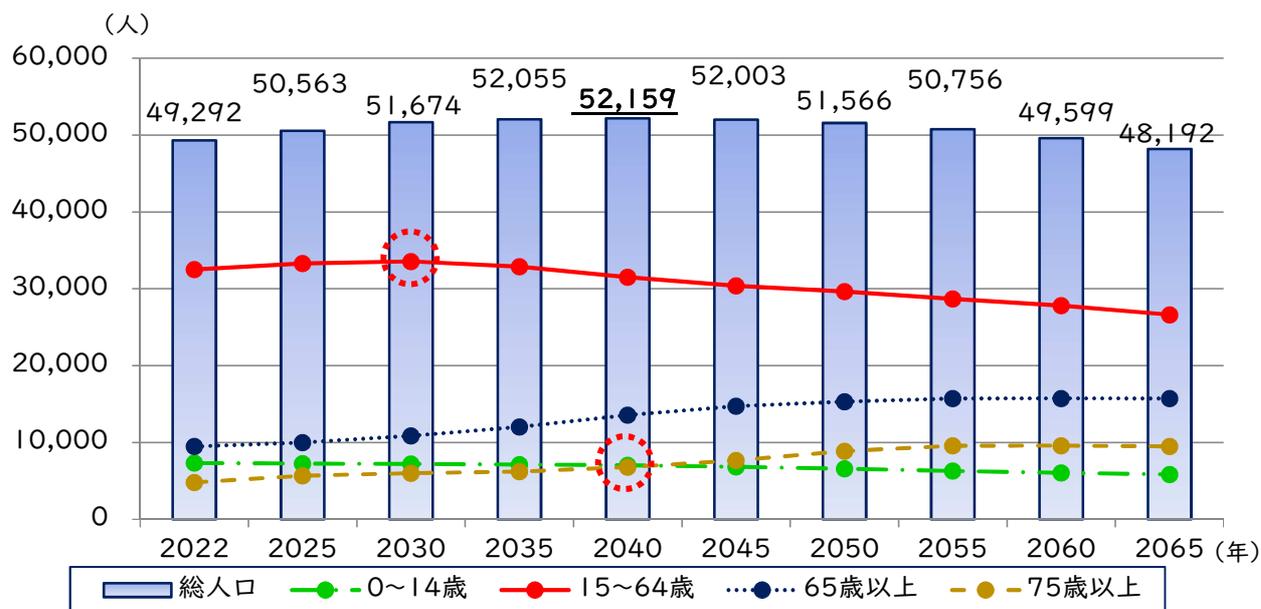


出典：住民基本台帳人口（各年10月1日時点。ただし、2022年のみ4月1日）

(3) 将来人口の推計

「高浜市人口ビジョン*」では、人口は2040年(令和22年)の約52,000人余が、ピークとなる見通しであり、全国で急速に人口減少が進行する中、第7次総合計画の期間では依然として増加すると見込んでいます。

しかしながら、年少人口は減少傾向にあり、生産年齢人口も第7次総合計画後半の2030年(令和12年)をピークに減少に転じると見込んでいます。また、2040年(令和22年)には後期高齢者人口が年少人口を超えると見通しています。



出典:高浜市人口ビジョン*(令和2年3月発行)

(4) 人口の将来展望

高浜市の人口は、第2次産業*への就業者割合が非常に高く、外国籍市民の割合が高いという人口及び就労状況の関係上、地域経済を支える企業(特に輸送機器関連企業)の景気動向や社会情勢に左右されるところが大きい状況にあります。

そうした中でも、52,000人(「高浜市人口ビジョン*」より、2040年(令和22年)に人口52,159人)を第7次総合計画の計画最終年次の将来展望人口として想定・設定し、それに対応する土地利用構想や、子育て・勤労世代を中心に定住を促すための取組みを戦略的に進めていきます。

2032年(令和14年)の将来展望人口

52,000人

3 土地利用構想

土地は、限りある資源であり、市民が快適な生活を送り、自然や歴史・文化を守り、育み、地域の活力を生み出す舞台となるものです。

高浜市を形成する土地は他の自治体と比べ、広くはありません。だからこそ隅々まで有効に活用し、誰もが安心して暮らし、市民が愛着を持って住み続けられるように、地域の個性を生かし、活気と交流のあるまちづくりを進めるため、長期的視点に立った土地利用を次のように進めていきます。

土地利用の基本的な考え方

地域の個性を生かし、市民の自主性を高め交流を促進する土地利用を目指します。

コンパクトさを活かし、いつまでもいきいきと暮らすことができる土地利用を目指します。

居住・労働・交流・憩いが調和し、暮らしやすく、住みたいと思える土地利用を目指します。

災害等に強く、将来にわたって安心して暮らせる土地利用を目指します。

そこで、5つの基本ゾーンを設定し、将来人口52,000人の都市規模に対応した土地利用構想を次のように定めます。

(1) 住居系ゾーン

名鉄三河線沿線において住宅地形成の進んだ既成市街地のほか、将来的な人口増加の受け皿として期待される隣接する市街化調整区域も含め、住居系ゾーンとして位置づけます。

(2) 商業系ゾーン

都市機能集積拠点（名鉄三河線の鉄道駅周辺）に加えて、市民の生活の利便性の向上や広域的な交流人口の増加の観点から、幹線道路沿道を商業系ゾーンとして位置づけます。

(3) 工業系ゾーン

衣浦港沿岸部や内陸部における既存の工業集積及びその周辺区域については、さらなる産業集積に向け、工業系ゾーンとして位置づけます。

(4) 農業系ゾーン

市街化調整区域内で一団の農地が広がっている区域については、今後もその生産機能を維持する農業系ゾーンとして位置づけます。

(5) 住居系・産業系 検討ゾーン

市街化調整区域のうち、幹線道路へのアクセスが良く、住居系ゾーンと工業系ゾーンのいずれとも接する区域については、住居系・産業系 検討ゾーンとして位置づけます。

図：土地利用構想図



4 地域展望

高浜市には5つの小学校区があり、「地域でできることは地域で行う」を合言葉に、小学校区単位で設立された住民自治組織「まちづくり協議会」が主体となって、地域の個性・特徴を生かしたまちづくりが進められています。

すべての「まちづくり協議会」で、地域ごとのまちづくりの目標や活動方針、取組内容等といった“地域の想い”を詰め込んだ「地域計画」が策定されています。

「地域計画」は、総合計画の目標達成につながる、地域のできることを、やりたいことが描かれた重要な計画です。市政運営にあたっては、「地域計画」を“地域の想い”として尊重していきます。



各地域の地域計画
はこちらから
ご覧ください



港小学校区の将来像		ふれあいのある心豊かなまち
ま ち づ く り の 目 標	すべての住民が支えあう地域共生のまち	子どもたちやチャレンジド(障がいを持ったことによって挑戦する課題、使命を与えられた人)、高齢者の皆さん等、地域住民のすべての皆さんが共に支えあう地域共生のまちづくりを目指します。
	安全で安心して暮らせるまち	身近に起きる犯罪や今すぐ発生しても不思議でない大地震などから被害を最小にするため、みんなの力、みんなの活動で安全、安心なまちづくりを目指します。
	ふれあいのある住みよいまち	みんなで協力し合って実施する行事やイベントを通じ、「心の豊かさ」「人と人のつながり」を持った安らぎとふれあいのある心豊かなまちを目指します。
	持続する体制づくり	「地域でできることは、地域で行う」といった地域内主権によるまちづくりを持続、推進するための体制づくりを行います。

吉浜小学校区の将来像		つながり 支え合い 楽しく語り合うまちづくり よしはま
ま ち づ く り の 目 標 ！ こ ん な 地 域 に し て い き た い ね ！	子どもの育成	子どもが夢を持ち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま
	高齢者のいきがい	
	伝統文化・教養	受け継ごう 伝統文化 育てよう 未来!
	防犯・交通安全	安心・安全は地域の支えあいから
	防 災	家庭と地域 つながる 見える みんなの備えが命を救う
	環 境 美 化	花いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱいのまち よしはま
	イ ベ ン ト	みんなでつくる こども夢のまち よしはま
	広 報	伝えたい 知りたいたいの宝箱
運 営 体 制	持ちつ持たれつ支え合い 楽しく語るまちづくり	

翼小学校区の将来像		安全・安心に暮らせるまち 翼	
まちづくりの目標	目	標	安全で心豊かな思いやりのあるまち 翼
	事業	防災	= 翼地区の住民がお互いに協力し合い = — 住民相互のふれあいを深め —
		防犯	— 心の豊かさを実感できる —
	業	文化・体育	— 安全・安心なまちづくり —
今後の展望		◎安全・安心に関する事業(防犯対策・防災対策)は継続 ◎住民相互のふれあい・コミュニケーションづくりは継続 ◎新たに街の美化、外国籍住民とのふれあいに取り組む ◎まちづくりに参加する人を増やすことが課題 ◎従来 of 活動を見直し整理していく	

高取小学校区の将来像		心ふれあう安全・安心なまち	
まちづくりの目標	犯罪のない明るいまち		
	空き巣・詐欺など身近に起こる多様化する犯罪、高齢化に伴う交通事故の多発など、地域・行政・警察が一体となって犯罪・交通事故から生命・財産、日常の暮らしを守る活動に取り組み、安全・安心に暮らせるまちを目指します。		
	みんなで支え合う災害に強いまち		
	近い将来に発生が予測される大震災、風水害、火災などの災害。被害を最小限に食い止めるため、「自らの身は自ら守る」ことを基本としつつ、地域ぐるみの防災・減災対策により、安全・安心に暮らせるまちを目指します。		
	笑顔で心ふれあうまち		
	転入者の増加、少子化・核家族化、超高齢社会などに対応していくため、住民同士のゆるやかなつながりや活躍の場づくり、子育ての応援、健康寿命の延伸や認知症対策などに取り組み、みんなが笑顔になる、住んでいて楽しいまちを目指します。		
まちづくりの目標	花と緑が潤うきれいなまち		
	豊かな自然資源を活かし、四季を通じて花や緑にあふれ、心に潤い・やすらぎを与える市民の憩いの空間づくり、鳥や魚も喜ぶ環境づくりなど、校区の魅力を市の魅力へとさらに高めていくことを目指します。		

高浜小学校区の将来像		豊かな絆(きずな)を結び合う愛着と誇りを持てるまち	
まちづくりの目標	助け合いの心とぬくもりがあふれるまち		
	住みなれた地域でいつまでも暮らし続けられるよう、住民同士の絆を深め合い、まちの至る所で住民同士の会話が響きあう、ぬくもりとふれあいのあるまちを目指します。		
	キーワード	交流・コミュニケーション・居場所	
	美しい景観を守り育むまち		
	このまちに住んでいることを誇りに思えるように、快適で美しい生活環境の創造と、先人から受け継いできた住民共有の財産である地域の景観・文化遺産を守り、育て、次代へ伝えていきます。		
	キーワード	美観・まちへの誇り	
まちづくりの目標	情報が行きかう安全・安心なまち		
	日常のあいさつ・声かけ、会報やホームページによるまちの情報の受発信、講座の開催など様々な手段により、防犯、防災、子育てといった暮らしに密接な情報が行き届いた安全・安心なまちを目指します。		
キーワード	安全・安心・情報の共有		

